

環境経営レポート

対象期間：2024年9月1日～2025年8月31日



1. 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業
2. 産業廃棄物処分業(中間処理業)
3. 再生重油製造・販売業



発行日：2025年9月22日

全てはお客様の為に



ユナイテッドオイル 株式会社

目 次

	PAGE
1. 環境経営方針	1
2. 組織の概要	2
3. 認証・登録の対象範囲	2
4. 事業内容	4
5. 施設の状況	5
6. 処理実績	7
7. 環境経営目標	8
8. 環境経営計画	9
9. 環境経営目標の実績	10
10. 環境経営計画の取組結果とその評価、	11
次年度の取組内容	
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の	12
結果並びに違反、訴訟等の有無	
12. 代表者による全体評価と見直し	13
13. 取組状況	14

1.環境経営方針

「環境経営理念」

当社はお客様に選ばれる再生重油の製造・販売並びに各種産業廃棄物の収集運搬及び処分業務を適正に行う中で、日々創意工夫して事業活動における環境負荷の低減により、深刻化する地球温暖化への取り組みを実践してまいります。

「環境経営方針」

当社は、経営における環境への取組の重要性を強く認識し、全従業員が一丸となり環境負荷の少ない活動に取り組むことにより、低炭素社会・循環型社会の構築に貢献するとともに、環境経営の継続的改善を図ることを誓約します。

「環境への取組の重点分野」

1. 環境経営方針を全従業員に周知させ、環境保全への意識向上を図ります。

2. 具体的に次のことに取り組めます。

【二酸化炭素排出量の削減】	電力及び化石燃料使用量の削減
【廃棄物排出量の削減】	中間処理後の二次産業廃棄物排出量の削減
【排水量の削減】	節水活動の推進
【事業に関する環境配慮】	収集運搬車両の燃料使用量の削減 油水分離施設の電力使用量の削減
【環境教育の推進】	外部環境関連講習への積極的な参加と 社内へのフィードバック

3. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日 2018年 6月25日

改定日 2023年10月 2日

ユナイテッドオイル株式会社

代表取締役社長 高原 道則

2. 組織の概要

1) 名称及び代表者名

ユナイテッドオイル株式会社

代表取締役社長 高原 道則

2) 所在地

本社：〒457-0065 愛知県名古屋市南区元鳴尾町5-2番地

※令和5年11月1日 本社住所変更

飛島営業所：〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場一丁目93番1

木場工場：〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場一丁目93番2

3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先

環境管理責任者及び担当者

営業部部長 堀 雅晴 TEL 052-485-5591 E-MAIL hori@unitedoil.co.jp

4) 事業概要

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物処分業（中間処理業）

再生重油の製造・販売業

5) 事業の規模

設立 2014年 6月16日

資本金 1千万円

売上 21,343万円（2024年9月1日～2025年8月31日）

規 模	本 社	飛島営業所	木場工場	合 計
従業員	1名	3名	5名	9名
パート等	0名	0名	0名	0名
床面積（延べ）		25.46㎡	344.35㎡	369.81㎡

※本社は登記上の本社であり実際の活動はない

6) 事業年度 9月1日～8月31日

3. 認証・登録の対象範囲

1) 事業所

対象事業所名 : 本社、飛島営業所、木場工場

2) 事業内容

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物処分業（中間処理業）

再生重油の製造・販売業

3) 従業員数 9名

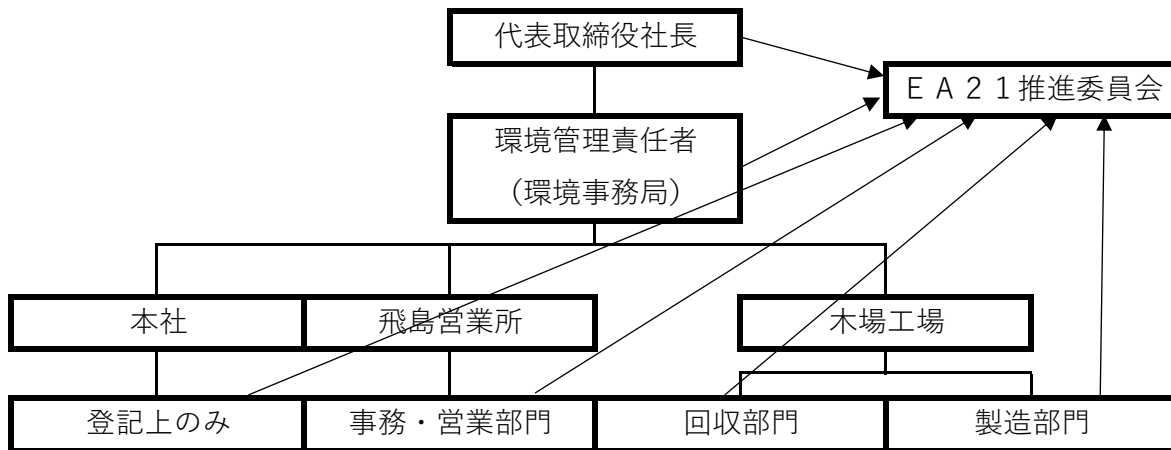
4) 環境経営レポートの対象期間

①当期の活動期間 2024年9月1日～2025年8月31日

※今回の環境経営レポートの作成：2025年9月22日

5) 組織図

①推進組織



②役割と責任・権限

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任者 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等を提供 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・ 環境経営計画の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ E A 2 1 推進委員会の事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックを実施 ・ 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 ・ 環境経営目標・環境経営計画の実績集計 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付と地域事務局への送付） ・ 全従業員への教育訓練の実施 ・ 各部門の想定される事故及び緊急事態への対応手順書の作成及び訓練の実施、記録の作成
E A 2 1 推進委員会 （代表以下全従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営目標・環境経営計画の審議 ・ 環境経営目標・環境経営計画実績の確認・評価
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 事業内容

許可一覧及び許可内容(事業の範囲)

		処分	収集運搬（愛知県のみ積替え、保管あり）				
		愛知県	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	
産業廃棄物	許可番号	02320179925	02310179925	02100179925	02400179925	02201179925	
	許可の年月日	2021.9.29	2024.10.22	2024.11.11	2021.1.15	2024.12.3	
	許可の有効期限	2026.9.26	2029.10.21	2029.11.10	2026.1.14	2029.12.2	
	処分方法	油水分離					
	処理能力	19.8m³／日 (2.2m³／時間)					
	燃え殻		●	●	●	●	
	汚泥		●	●	●	●	
	廃油	●	●	●	●	●	
	廃酸		●	●	●	●	
	廃アルカリ		●	●	●	●	
	廃プラスチック類		●	●	●	●	
	紙くず		●	●	●	●	
	木くず		●	●	●	●	
	繊維くず		●	●	●	●	
	動植物性残さ		●	●	●	●	
	金属くず		●	●	●	●	
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		●	●	●	●	
	がれき類		●	●	●	●	
	ダスト類		●	●	●	●	
特別管理産業廃棄物	許可番号		02350179925	02150179925	02450179925	02251179925	
	許可の年月日		2024.10.22	2025.3.27	2021.1.15	2025.4.10	
	許可の有効期限		2029.10.21	2030.3.26	2026.1.14	2030.4.9	
	引火性廃油		●	●	●	●	
	腐食性廃酸		●	●	●	●	
	腐食性廃アルカリ		●	●	●	●	
	感染性産業廃棄物		●	●			
	特定有害廃PCB等		●				
	特定有害PCB汚染物		●				
	特定有害廃石綿等		●	●		●	
	特定有害ダスト類		●	●		●	
	特定有害燃え殻		●	●		●	
	特定有害廃油		●	●			
	特定有害汚泥		●	●		●	
	特定有害廃酸		●	●		●	
	特定有害廃アルカリ		●	●		●	

5. 施設の状況

①収集運搬業務

《運搬車両一覧》

形式		積載量 (k g)	台数
キャブオーバー	パワーゲート	3, 0 0 0 k g	1 台
タンク車	タンクローリー	3, 3 4 0 k g	2 台
タンク車	タンクローリー	1, 5 2 0 k g	2 台
タンク車	タンクローリー	5, 2 2 0 k g	1 台
バン	バン	1, 2 0 0 k g	1 台
清掃車	超強力吸引車	3, 9 8 0 k g	1 台
		合計	8 台

《積替え、保管》

廃酸（水銀含有ばいじん等を除く。）

廃アルカリ（水銀含有ばいじん等を除く。）

以上 2 品目（水銀使用製品産業廃棄物を除く。）

（1）所在地 海部郡飛島村木場一丁目 9 3 番 2

（2）面積 9 6 6 m² （保管面積 1 0 m²）

（3）保管上限 1 0 m³

（4）高さ 該当なし

②処分業務

《木場工場》

許可	産業廃棄物処分業（中間処理業）		
許可品目	廃油		
処分方法	油水分離		
処理能力	1 9. 8 m ³ /日（2. 2 m ³ /時間）		
設備	原料タンク	1 0 K L 地上タンク	2 基
	製品タンク	2 0 K L 地上タンク	1 基
	〃	5 0 K L 地上タンク	1 基
	加熱タンク	6 K L 地上タンク	1 基
	遠心分離機	処理能力 73L/min	2 基
	ろ過機	処理能力 200L/min	2 基
	水分吸引器	最大風量 2.4m ³ /min	4 基
	コンプレッサー	本体出力 1 5 K W	1 基
		（ドライヤー出力 0. 5 K W）	

③処理工程（木場工場）

1. 廃油荷卸し



タンクローリーで各お客様から回収
してきた廃油を荷卸し(10KL地上タンク2基)



2. 加熱処理



タンク内の廃油を電気ヒーターで加熱・バブ
リング処理（加熱タンク2KL×3室）

3. 遠心分離処理



加熱処理された廃油中のスラッジ（不純物）
を遠心分離機にて除去（遠心分離機2基）



4. 水分除去処理



加熱・遠心分離処理時に発生する水分（水蒸気）
を強力吸引器により除去（強力吸引器 4台）

5. ろ過処理



遠心分離機で除去できない軽質不純物（主に
繊維質状）をろ過（270meshろ過機 2台）



6. ろ過処理



軽質不純物を再度ろ過
（150meshろ過機 1台）

7. 製品保管



1～6処理が完了した後、製品化された再生重油を製品タンクに保管し出荷
（20KL地上タンク1基）



（50KL地上タンク1基）

6. 処理実績

1. 直近1年間の実績

①廃油中間処理量（自社処分）

単位 t

		2023.9.1～2024.8.31	2024.9.1～2025.8.31	増 減
廃油	産廃	17.15	24.34	7.19
	有価物	2,998.00	3,080.90	82.91
	合計	3,015.15	3,105.24	90.10
再生重油		2,929.50	3,024.00	94.50
中間処理リサイクル率		97.16%	97.38%	0.22%

②収集運搬量（他社処分）

単位 t

	2023.9.1～2024.8.31	2024.9.1～2025.8.31	増 減
引火性廃油	4.175	3.422	-0.753
廃油（産廃）	215.129	191.986	-23.143
廃油(有価物)	0	0	0
汚泥	143.44	167.42	23.98
金属くず	129.262	127.373	-1.889
廃プラスチック類	2.623	0.784	-1.839
廃アルカリ	85.795	100.576	14.781
合計	580.424	591.561	11.137
			101.92%

※各産業廃棄物の容量（m³）から重量（t）への計算は産業廃棄物換算係数表による

- 1) 廃油・引火性廃油 0.9
- 2) 汚泥 1.1
- 3) 金属くず 1.13
- 4) 廃プラスチック類 0.35
- 5) 廃アルカリ 1.13

③全収集運搬量（自社処分＋他社処分）

単位 t

	2023.9.1～2024.8.31	2024.9.1～2025.8.31	増 減
自社処分	3,015.15	3,105.24	90.09
他社処分	580.42	591.56	11.14
合 計	3595.57	3696.80	101.23

7. 環境経営目標

※収集運搬量は基準年実績に対し毎年2%、再生重油出荷量は毎年 3 %増加を目標とし、
環境負荷項目は基準年実績に対し毎年 1 %削減を目指す。

項目			単位	2023年（基準期間）	2 0 2 4 年（12ヶ月）		2 0 2 5 年（12ヶ月）		2 0 2 6 年（12ヶ月）	
				2 0 2 3 年9月1日 ～ 2 0 2 4 年8月31日	2 0 2 4 年9月1日 ～ 2 0 2 5 年8月31日		2 0 2 5 年9月1日 ～ 2 0 2 6 年8月31日		2 0 2 6 年9月1日 ～ 2 0 2 7 年8月31日	
				年間実績	年間目標	1 2 ヶ月	年間目標	1 2 ヶ月	年間目標	1 2 ヶ月
収集運搬量			t	3,595.6	3,667.5		3,739.4		3,811.3	
再生重油出荷量			t	2,929.5	3,017.4		3,105.3		3,193.2	
使用電 気量	購入電力		kWh	284,499	1 %減	290,123	2 %減	295,562	3 %減	300,831
	再生重油出荷量単位		kWh/t	97.12		96.15		95.18		94.21
	二酸化炭素排出量		k g - C O 2	126,878.11	129,372.95		131,795.05		134,144.83	
化石燃 料	ガソ リン	ガソリン使用量	L	1,226	1 %減	1,240	2 %減	1,249	3 %減	1,262
		運搬量原単位	L /t	0.341		0.338		0.334		0.331
		二酸化炭素排出量		k g - C O 2	2,843.42	2,876.80		2,897.68		2,927.84
	軽油	軽油使用量	L	39,615	1 %減	40,005	2 %減	40,378	3 %減	40,731
		運搬量原単位	L /t	11.018		10.908		10.798		10.687
		二酸化炭素排出量		k g - C O 2	102,205.67	103,212.90		104,172.24		105,085.98
二酸化炭素総排出量			k g - C O 2	231,927.20	235,462.65		238,864.97		242,158.65	
使用水 道量	水道使用量		m3	45.00	1%減	47.68	2%減	48.61	3%減	49.55
	運搬量原単位		m3/t	0.013		0.013		0.013		0.013
廃棄物	一般廃棄物排出量		kg	12.00	1%減	11.00	2%減	11.22	3%減	11.43
	運搬量原単位		kg/t	0.003		0.003		0.003		0.003
	産業廃棄物排出量		t	9.31	1%減	9.05	2%減	9.32	3%減	9.58
	再生重油出荷量単位		t /t	0.003		0.003		0.003		0.003
中間処理リサイクル率向上 （基準年度比毎年0.2%増加目標）			%	97.16	97.36		97.56		97.76	
グリーン購入推進（努力目標）			購入金額（円）	購入に努力する	購入に努力する		購入に努力する		購入に努力する	
環境配慮及びサービスの改善				収集運搬業務の効率化推進						

- * 1 化学物質（PRTR対象物）の使用はない
- * 2 電気の二酸化炭素換算係数はR5年度（R7.3.18公表）環境省・経済産業省公表調整後排出係数を使用した。日本テクノ（株）0.412 中部電力ミライズ（株）0.393
- * 3 グリーン購入に関しては、数値目標が決め難いので、当面努力目標として、実績把握をする。
- * 4 本社は登記上のみの本社であるため、負荷データ等は把握していません。
よって当社の負荷データは木場工場及び飛島営業所のデータとなっています。

8. 環境経営計画

目標課題			目標	具体的実施項目	担当責任者
二酸化炭素排出量削減	化石燃料削減	ガソリン・軽油 使用量削減	基準値比 1 %削減	エコドライブの徹底	回収担当者
				不必要なアイドリング禁止	〃
				不要な荷物を降ろして車両の軽量化	〃
				タイヤ空気圧のチェック	〃
				エアコンを控えめにする。	〃
				適切なルート選定による効率的な運転の促進	〃
	電気使用量削減	電気使用量削減	基準値比 1 %削減	不要な照明の消灯	工場長
				エアコン夏は28℃、冬は 2 3℃に設定	〃
				電気使用率（精製時間）のチェック	〃
				冷暖房必要期間短縮への取組	〃
総水量削減	使用量の削減	基準値比 1 %削減	節水ラベルの表示	工場長	
			配水管等の漏水点検	〃	
			蛇口の閉め忘れ点検	〃	
廃棄物削減 廃棄	排出量の削減	事務所・工場等	コピー用紙の両面使用	総務部長	
			資源ごみの分別リサイクル推進	〃	
			ペーパーレスの推進	〃	
			リサイクルが安易な物を使用する。	〃	
中間処理リサイクル率の向上				原料の含水率をチェック	営業部長
グリーン購入推進				再生紙等の使用推進	総務部長
				再生ウエスの使用推進	〃
課題を解決しチャンスを活かす取組 段階的に推進				排出事業者の要求に真摯に向き合う	営業部長
				省エネによる競争力向上	〃
				従業員の労働環境の改善	〃

* 電気使用率＝木場工場 1 ヶ月間の電気使用量（k w h）÷当該月再生重油製造量（L）

（電気使用率とは再生重油を精製する際どれ位電気を使用するかという値であり、
電気使用率が低い程原料の質が良く効率的な精製が出来ているという事となる。）

9. 環境経営目標の実績

項 目		単位	2024年（目標）		2024年（実績）		評価	
			2024年9月1日 ～2025年8月31日		2024年9月1日 ～2025年8月31日			
			12ヶ月目標	基準比（%）	12ヶ月実績	目標対比（%）		
収集運搬量		t	3,667.5		3,696.8		○	
再生重油出荷量		t	3,017.4		3,024.0		○	
使用電 気量	購入電力	kW h	290,123	1%減	286,895	1.13%	○	
	再生重油出荷量単位	kW h / t	96.15		94.87	1.35%	○	
		二酸化炭素排出量	k g - CO2	129,372.95		118,165.67		○
化石燃 料	ガソリン	ガソリン使用量	L	1,240	1%減	1,319	-5.99%	×
		運搬量単位	L / t	0.338		0.357	-5.32%	×
		二酸化炭素排出量	k g - CO2	2,876.80		3,060.96		×
	軽油	軽油使用量	L	40,005	1%減	39,532	1.20%	○
		運搬量単位	L / t	10.908		10.694	2.00%	○
			二酸化炭素排出量	k g - CO2	103,212.90		101,993.44	
二酸化炭素総排出量		k g - CO2	235,462.65		223,220.06		○	
水	水道使用量	m³	47.68	1%減	64.00	-25.50%	×	
	運搬量単位	m³/ t	0.013		0.017	-23.53%	×	
廃棄物	一廃排出量	k g	11.00	1%減	14.00	-21.43%	×	
	運搬量単位	k g / t	0.003		0.004	-25.00%	×	
	産廃排出量	t	9.05	1%減	10.18	-11.10%	×	
	再生重油出荷量単位	t / t	0.00299		0.00337	-11.28%	×	
中間処理リサイクル率の向上		%	97.36		97.38		○	
グリーン購入推進 （努力目標）		購入金額 （円）	努力目標	-	再生ウエス	3,300	—	

- * 1 化学物質（PRTR対象物）の使用はない
- * 2 グリーン購入に関しては、数値目標が決め難いので、当面努力目標として、実績把握をする。（再生紙、再生ウエス購入金額把握）
- * 3 実施結果に対する評価は目標達成○、未達×とする

4) 環境目標実績評価

収集運搬量前年比1.2%増、再生重油製造・販売量3.2%増という結果で少し伸び悩みの傾向がみられたが、ほぼ計画とおりの一年間であった。

エコアクション21に対する取り組みでは、長年の課題であった電気使用量・軽油使用料の削減目標を遂に達成することができ、結果として二酸化炭素総排出量の削減目標も達成することができた。

再生重油の品質面でもリサイクル率が向上し、製品に対するクレームも無く良い一年間であった。

ガソリン使用量の増加は従業員が1名増えたことにより営業日数が増えたためだと考える。

水の使用量もバキューム車の稼働日数が増えたこと、中和洗浄作業が増えたことが原因である。

一般廃棄物の増加は各従業員がごみを出さないよう再度徹底。

10. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

対象項目				活動	活動項目	担当責任者	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	化石燃料削減	油ガ使用量・削減	全車両エコドライブによる燃料使用量削減の徹底	エコドライブの徹底	回収担当者	○	アイドリングストップ・エアコン控えめの徹底	
				不必要なアイドリング禁止	〃	△		
				不要な荷物を降ろして車両の軽量化	〃	○		
				タイヤ空気圧のチェック	〃	○		
				エアコンを控えめにする	〃	△		
				適切なルート選定による効率的な運転の促進	〃	○		
	電気の削減	事務所・工場での電気使用量の低減	不要な照明の消灯	工場長	○	継続実施する		
			エアコン夏は28℃、冬は23℃に設定（目標）	〃	○			
			電気使用率（精製時間）のチェック	〃	○			
			冷暖房必要期間短縮への取組	〃	△			
水使用量の削減				節水ラベルの表示	工場長	○	継続実施する	
				配水管等の漏水点検	〃	○		
				蛇口の閉め忘れ点検	〃	○		
廃棄物排出量削減		事務所・工場等	コピー用紙の両面使用	総務部長	○	ペーパーレス推進の強化		
			資源ごみの分別リサイクル推進	〃	○			
			ペーパーレスの推進	〃	△			
			リサイクルが安易な物を使用する。	〃	○			
中間処理リサイクル率の向上				原料の含水率をチェック	営業部長	○	継続実施する	
グリーン購入推進				再生紙等の使用推進	総務部長	○	継続実施する	
				再生ウエスの使用推進	〃	○		
課題を解決しチャンスを活かす取組（段階的に推進）				排出事業者の要求に真摯に向き合う	営業部長	○	継続実施する	
				省エネによる競争力向上	〃	△		
				従業員の労働環境の改善	〃	○		

* 化学物質の使用はありません（P R T R対象物質）

* 評価基準 ○ 実施 △ 一部実施 × 未実施

（環境活動計画実施結果に対する評価と次年度の取組み内容）

- 軽油使用量が増加→アイドリングストップ・エアコン控えめの徹底に取り組む
- 電気使用量のチェック継続→電気使用率の管理を継続していく
- 原料の含水率チェック継続→製造時間短縮につながる
- 再生ウエス使用継続→環境負荷低減につながる
- 紙の使用量が削減できていない→裏紙使用・ペーパーレス徹底

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1) 環境関連法規の遵守状況の確認

法律・条令等の名称	法律等要求事項	確認日	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (排出事業者)	処理委託業者との契約書締結	2025.9.12	○
	処理委託業者の適正処理確認	〃	○
	マニフェストの発行・保管	〃	○
	管理票交付等状況報告書の提出	〃	○
	許可証の有効期限の確認	〃	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (収集運搬業)	運搬車両への表示	〃	○
	事業範囲の遵守	〃	○
	許可証・マニフェストの携帯	〃	○
	許可証の有効期限の確認	〃	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (処分業)	事業範囲の遵守	〃	○
	マニフェスト帳簿の作成・保管	〃	○
	契約書の締結・保管	〃	○
	マニフェストの保管	〃	○
	廃棄物処理施設技術管理者の設置	〃	○
	処理実績報告書の届出	〃	○
	許可証の有効期限の確認	〃	○
浄化槽法	建築確認書類	〃	○
	法定検査・保守点検・清掃	〃	○
消防法	許可書の保管	〃	○
	保安監督者の選任	〃	○
	移動タンク貯蔵所定期点検の実施及び記録の保管	〃	○
	移動タンク貯蔵所加圧試験の実施	〃	○
	危険物製造所点検の実施と記録の保管	〃	○
	消火器の点検	〃	○
フロン排出抑制法	簡易点検の実施及びその記録の保管	〃	○
グリーン購入法	環境物品の選択	〃	○
電気事業法	設置届	〃	○
	年次点検・月次点検	〃	○
騒音規制法	敷地境界での規制値の遵守	〃	○
振動規制法	敷地境界での規制値の遵守	〃	○
愛知県県民の環境保全に関する条例	アイドリングストップ義務（社員の教育）	〃	○

対象期間内の環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、各法規を遵守していることを確認した。

2) 違反・訴訟の有無

過去3年間、各関係機関からの指摘もなく、違反及び訴訟の事実はありません。

1 2. 代表者による全体評価と見直し

2024年9月22日
代表取締役社長 高原 道則

実施日	2024年9月22日
場所	飛島営業所
出席者	高原社長・堀環境管理責任者 以下7名

1. 各項目の取り組みに対する評価

	項目	評価
1	環境経営目標の達成状況	今年度は実態に即した環境経営目標に変更したこともあり、電気使用量・軽油使用量の削減目標を遂に達成することができた。その結果として二酸化炭素総排出量の削減目標もクリアすることができた。弊社のような環境事業に取り組んでいる企業にとっては非常に有意義である。次年度も今年度目標達成できなかった面も含めて全員で目標を達成していく
2	環境経営計画の取組結果	今年度も6月から8月末まで非常に暑く、アイドリングストップ・エアコン控えめ運転の実施が厳しかった。熱中症対策に注力し誰も熱中症にならなかったことが一番良かった
3	環境関連法規の遵守状況	今後も継続して各法令を遵守していく
4	外部コミュニケーション記録	今年度はクレーム0であった。 次年度も継続していく
5	問題点の是正・予防処置	一般廃棄物・水の使用量が目標を達成できていない。水の使用量については原因を把握しているので無駄な使用に気をつける。一般廃棄物は分別・リサイクルを再徹底していく
6	実施体制	実施体制はこのまま継続する。各自が自分の役割及び環境負荷低減活動に取り組んでいく。

2. 各項目の取り組みに対する見直し及び変更

	項目	見直し・変更
1	環境経営方針	変更なし
2	環境経営目標	変更なし
3	環境経営計画	変更なし
4	環境経営システム	変更なし

3. 総括

今年度も回収量・再生重油販売量ともに増えた中で二酸化炭素総排出量の削減ができたことは非常に良かった。次年度も必ず達成する。前年度あった製品に対するクレームも無かった点も評価できる。従業員数も増え各自の意識が目標達成には不可欠であるので全員でエコ運転・節電・節水等意識付けで出来ることにしっかりと取り組んでいく

1 3. 取組状況



木場工場内の掲示の様子